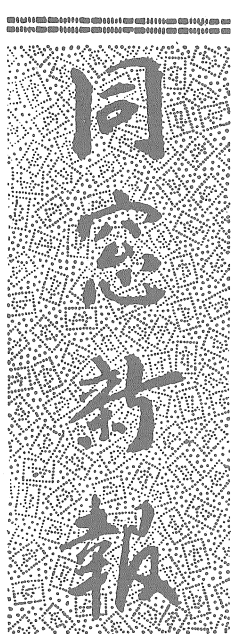


新しい創造をめざして



題字・故 上野慈賢先生

駒大高校同窓会 会報

発行所

駒沢大学高等学校

同窓会

東京都世田谷区上用賀1丁目

〒158 TEL.3700-6131(代)

FAX.3707-5689

振替口座 0018-6-61881

平成九年度

役員総会開かれる

梅雨にはいる前の一番さわやかな時期である五月三十一日(土)午後三時より例年の会場である三子玉川駅前、富士観音館に母校の先生方と役員幹事諸氏が集い、総会が開催された。

大谷会長は役員総会の挨拶の中で、会員相互の親睦を計り、より充実した会とすることを、文化的諸行事を積極的に開催してゆくことを強調した方針を継続することを表明した。

この三月、羽住奎前校長が退職されたので、四月より和田実正氏が校長に、教頭には有川友弘氏が就任さ

れ、両氏の紹介の後、和田実正校長より祝辞をいただいた。

永年勤続者の次の先生方へ記念品が贈られた。

議長に四期田上 太秀氏を選出。

平成八年度事業報告
平成八年度決算報告
平成八年度役員改選
平成九年度役員改選
平成九年度事業計画
平成九年度予算
平成九年度予算の審議を終了した。

平成九年度 役員名簿

特別顧問	和田 実正	副会長	田上 太秀(四期)
顧問	有川 友弘	庶務	真田 治孝(五期)
上田 相生	森 本 正(男)(一期)		
神谷 道倫	浦 敏 之(十三期)		
佐藤 芳孝	村 沢 健 二(十六期)		
幸村 光修	宮 恒 一(十六期)		
河本 修司	高 木 清(十九期)		
鈴木 宏樹	涌 井 馨(二期)		
鈴木 貞雄	真 間 馨(二期)		
新羅 朱美	妻 倉 由 明(十六期)		
小林 明子	日 吉 明 宏(十九期)		
	妻 倉 由 明(十六期)		
	日 吉 明 宏(十九期)		
	妻 倉 由 明(十六期)		
	日 吉 明 宏(十九期)		
名誉会長	秋山 彰三(二期)	会計監査	吉野 信行(二期)
会長	大谷 康憲(三期)		

同窓会の新顧問の先生方を紹介します

河村 光司
英語



同窓生諸君には益々ご清栄にて大活躍のことと拝察致します。

奉職三十六年。拙者もかつての猛者共と少々発止のやりとりした血気盛んな頃が偲ばれる年齢になりました。来年は開校五十周年記念。平成七年は共学初年度でした。学校も輝かしい歴史と伝統に支えられて新たな出発を余儀なくされていきます。今回、顧問を命ぜら

松本 修
英語



月日の経つのは早いもので本校の奉職させていただいて、三十数年が過ぎ去るうとしていきます。この間、

送ってきたかを顧みると、その内容の稀薄さに忤れたる思いである。この節目を機に、年相応の充実した人生を送れるよう精励働したいと思う。

津留 義広
英語



思い起こせば三十年のあいだには、新館・新体育館建設や共学移行など数々の大きな出来事があり、幸いにもこの長い年月を、幸いにも

浦 敏之
英語



ふと思ひ出す卒業生がいた。天折の日本画家田中篤志君がいた。彼は日本画家として嘱望されていた。

池川 浄
英語



この駒大高校で教鞭をとらせていただく事になって二十二年たちました。あつた

東 浩二
美術



古い成績表を出して見たら、最近の成績と比べて総じて低く、当時の自分の授業の未熟さがそのままだとわ

安達 裕好
世界史



用賀駅から道に迷って、隣のN高まで行ってしまったのが初出勤日の思い出で



新羅 朱美
家庭科
家庭研究部顧問

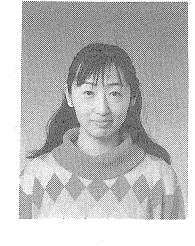


高校に就任したのが昭和四年四月、丁度創立二〇周年の年でした。人間でいえば成人式、それはまあ何と活気があつたことか、若さであふれた学校でした。

その当時の生徒のお子さんがまた入学し、その授業にいたり、クラス担任になったり。来年は開校五〇周年です。学校も私も熟年、発展のために同窓生とのつながりが更に重要になってきたことを痛感する今日このごろです。

理由がわかりませんが、顧問に選ばれ、大変光栄に思っています。思えば駒大

鈴木 貞雄
生物
生物研究部顧問



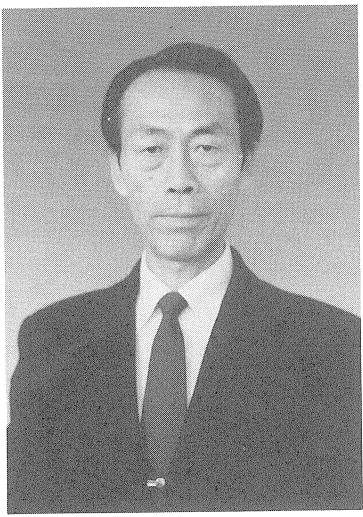
打ちこむ事ができます。というのも、最も多感な年頃の子供達と過ごす事を仕事として与えられたからではないかと思えます。いつまでも気持ちは青春まっただ中で仕事をさせてもらえる事に深く感謝しています。

隣のN高まで行ってしまったのが初出勤日の思い出で、電話を受ける度に、駒大高校が同窓生の方々に見守られ、支えられていることを強く感じます。また、皆様に応援していただけるよう、一教員として、日々努力せねばと思います。新役員顧問として、よろしくお願ひ致します。

今年も七月七日から甲子園大会の予選が始まりました。残念ながら五回戦で敗退しましたが、その期間に学校におりますと、同窓生の方々に試合結果に関する問い合わせと、応援の電話を数多く頂戴致します。普段は在校生のことで精一杯の私ですが、このような電話を受ける度に、駒大高校が同窓生の方々に見守られ、支えられていることを強く感じます。また、皆様に応援していただけるよう、一教員として、日々努力せねばと思います。新役員顧問として、よろしくお願ひ致します。

就任するに当って

校長 和田 實正



同窓会各位には、ご健勝に活躍のこととお慶び申し上げます。

同窓会の近年の積極的な活動によって、多くの会員の活躍のようすを見聞することができ、諸君の精励に敬意を表し成長を喜んでいくところであります。また、子女の入学、駒大高祭への参加あるいは部活動の応援など、母校に寄せられる支援のご厚情に、感謝申し上げますとともに心強く思っております。

「一九〇五七」今春卒業の第四七回生までの卒業生人数です。本年度入学の第五十回生の卒業のときは、「二〇五〇〇」となりますが、名実とも拡充と発展を祈り、心強い支援を願っております。

さて、前校長羽住奎先生が今春三月に退職され、後任を私が勤めることとなりました。

羽住先生は、昭和三十一年に本校に就職され、在職期間四十年に亘りますが、この間、五三年から教頭を、六一年から校長を勤められ、在職の半ばの期間、学校経営の任に当たられました。

上野慈賢校長病氣静養中には職務の代理に、また駒澤大学から迎えた河野良機・若林元典両校長のもと

で、高校教育事情に関わる補佐に労の多いことでした。

次に、七年度に始めた男女共学への移行が本年度を以て完結し、女子三年生が、そして来春には女子卒業生が誕生します。移行にあたっては、設備、指導などの準備を整えて実施し、概ね順調に進行してきましたが、設備使用の実際また生徒指導の展開において、方策の修正や追加が続きました。新たな課題として、女子生徒の進路指導対策が加わります。進路志望の傾向の把握、進路対象の情報収集と理解及び全体並びに個々の進路指導要領の策定であります。

さらに、学校週五日制の実施について、二〇〇三年には完全五日制実施という動きと一方、東京の私立高校の実施率三四％という状況の中で、本校の意志決定の検討を済ませ決断をする時期であります。

生徒数減少期の生徒募集、教育活動、財務対策など、中長期的展望に基づく施策の策定も必要であります。開校五〇周年を迎えるにあたり、回顧・懐旧ではなく、将来を展望する視点で目標と課題を求め、機会にしたいと考えています。生徒達も駒大高祭のスローガンを「オン ユア マー

ク」と、前向きな発想に感じしております。本校五十年に亘った生徒、父母、教職員の皆様は感謝する機会を設けたいと考えております。

多様な個性・能力の伸張を図る、興味・関心の拡充を図るなど新しい教育理念に基づく学習指導要領の改訂を受けて、本校では平成六年度入学生から新教育課

程に移行しました。三年間の実績を点検し、更なる工夫を加えなければなりません。各教科の単位編成、特別講座、選択科目及び情報処理教育の状況が対象の検討です。

去る三月末日をもって、家事の都合等で足掛け四十二年間にわたる教員生活に終止符を打ちました。ここまで勤めさせていただいたのも、この間私を育み支えていただいた多くの先輩同僚・関係各位のおかげである

任重くして道遠し

教頭 有川 友弘



前年度、校長羽住 奎先生、諸先生方や多くの同窓生諸氏の努力と真心により、地道に発展しながら今日をむかえております。

学校が存続し、また発展してゆくためには、単に学校の運営や経営努力だけでなく、同窓生一人一人の社会的・精神的安定感において、兄弟に対する誇りや信頼に結びつく大切な事

に、この両輪にしっかりと支えられてこそ、はじめて学校は大きく機能し発展できるのです。学校が発展、飛躍するということは、単に現役生徒自身の自信や人間性の高揚に大きく役立つだけでなく、同窓生一人一人の社会的・精神的安定感において、兄弟に対する誇りや信頼に結びつく大切な事

に、この両輪にしっかりと支えられてこそ、はじめて学校は大きく機能し発展できるのです。学校が発展、飛躍するということは、単に現役生徒自身の自信や人間性の高揚に大きく役立つだけでなく、同窓生一人一人の社会的・精神的安定感において、兄弟に対する誇りや信頼に結びつく大切な事

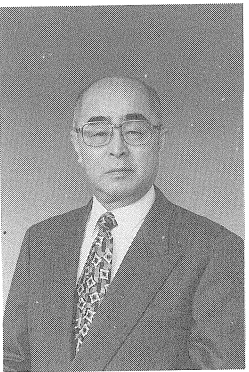
に、この両輪にしっかりと支えられてこそ、はじめて学校は大きく機能し発展できるのです。学校が発展、飛躍するということは、単に現役生徒自身の自信や人間性の高揚に大きく役立つだけでなく、同窓生一人一人の社会的・精神的安定感において、兄弟に対する誇りや信頼に結びつく大切な事

に、この両輪にしっかりと支えられてこそ、はじめて学校は大きく機能し発展できるのです。学校が発展、飛躍するということは、単に現役生徒自身の自信や人間性の高揚に大きく役立つだけでなく、同窓生一人一人の社会的・精神的安定感において、兄弟に対する誇りや信頼に結びつく大切な事

に、この両輪にしっかりと支えられてこそ、はじめて学校は大きく機能し発展できるのです。学校が発展、飛躍するということは、単に現役生徒自身の自信や人間性の高揚に大きく役立つだけでなく、同窓生一人一人の社会的・精神的安定感において、兄弟に対する誇りや信頼に結びつく大切な事

辞するにあたって

羽住 奎



上京しました。面接のため訪れた学校は、この年から大学構内より渋谷校舎に移転したばかりで、驚くほど小さな建物、少人数の教員、僅かな生徒数、無いに等しい施設の設備等々、私の母校とは比較にならない環境に驚き、しばらくは、早々に退職して既に半年が過ぎようとしている今日、在職中の事を振り返る余裕も出てきた反面、記憶も薄れつつあることも事実であります。

昭和三十一年、大学時代の恩師や先輩の勧めもあって、他に就職する予定を断り、教員になることを志し

安否もありました。二十七年

私は教科、音楽をとおして、大半の卒業生諸氏の授業を担当いたしました。

「花の嵐に片類笑み……」

この宗歌・校歌は、先ず授業の初日から始まる歌で、今でも懐かしき思い出が蘇るのではないのでしょうか。しかしこの音楽の授業風景も、この三年間で大きく様変わりをしていました。

懐かしき蜜声の集団は今や甲高きソプラノやアルトなど女声にすっかりリードされ、誠に華やかになりました。学校の内部にいる我々ですら駒大高もかわったな

あとと思うのですから、久しぶりに学校に来られるOB諸兄においては如何に感じられることでしょうか。

教育に指導に情熱を燃やし行動する姿に深い感動を覚え、以後の私の教員生活にまたそれぞれの指導に多くの示唆と教訓を得て良き体験となりました。素晴らしい教師集団であったと感謝しています。就任当時の一・二年は、まことに楽しく実り多き時期でありました。

爾後、四十年の間には多くの出来事がありました。渋谷校舎増築、大学構内への分散授業、大学構内に高校校舎新築、生徒急増、大学体育館建設、大学生急増により現在地に高校独自の校舎建設、移転等は記憶に強く残っております。その後の新館・別館・体育館の建設・施設設備の拡充・共

学移行等々就任当時とは比較にならない変遷と発展をみると感慨一人のものがあります。現地に移って三

十年、開校五十年を控え、伝統と歴史の重みを感じ

私が奉職して三十数年は夢のように過ぎ去りました

が、また学校も同様に世の時の流れに採られながら、五十年の節目を迎えることになりました。十年一昔と言われますが、今や五年いや三年一昔の時代となり目・耳に入る変化の様は激しさを増すばかりです。

ベートーヴェンより遙か昔のバロック音楽のビバルディーやバッハの作品をジャズピアノリスト、ジャック・ルーシェを中心としたという編成のジャズトリオのバンドが演奏しております。

パロッドと言う古くおっとりとした優雅な時代の音楽を、リズム感とアドリブに重きを置くモダンジャズ

思いや記憶に感じることが多々あります。友人や先生、さまざまな学校行事や部活動の一つ一つに懐かしさがえのいない思い出があることでしょうか。

同窓生も後一・二年で二万名を数えることになりましょう。私も同窓生の九割近い皆さんと何らかの形で関わりを持たせていただきました。社会において活躍されている様子を聞くにつけ教員であったことの喜びを噛み締めています。学校を離れたいま、外から学校を眺め、さまざまな人達から学校や教師に対する多様な考えや反応を窺うことができ、時には身の細るのを覚えたり、反省すべきことも多く、反面もつと学校がよい意味で大胆に積極的に指導すべきと期待をもって

いる人の多いのにも驚いています。私も地域にあって教育に積極的に関わりを持ちながらさまざまな問題に取り組んでおります。

近年の同窓会の組織活動が充実し発展していることを喜びました期待しております。

で演奏することは、一見バロディックであり、悪趣味ともとられるのですが、この名手達の手によって演奏されたモダンジャズの真髓に触れると、そこには十七・八世紀のバロック音楽が厳然と存在し、しかも二十世紀のジャズが何の不自然さもなく共存しています。

私は、この名演奏を聴きながら、本校の精神や伝統・教育理念は、これと同様の推移であると思ひました。

時代が経過し、教育環境や教育形態などが変わった

り、また、社会の秩序や状況が変化したとしても、本校の基本的教育理念は不変であり、脈々とその精神は継承されるでしょう。

我々もまた新しい時代の

す。貴会が常に母校の発展のために、物心両面にわたるご理解とご協力を寄せていただき、学校や生徒またクラブ活動等に多大なご後援をいただき誠にありがとうございます。同時に在職中未熟な私にもご交誼ご鞭撻を賜り、特に退職に当たって素晴らしい記念品の惠贈に預かり、衷心

より感謝と御礼を申し上げます。貴会の今後ますますの発展隆盛が、とりもなおさず将来の母校の発展興隆に通じるところ大なるものがあると確信しております。同窓生各位の各界でのご活躍を祈り、ご多幸とご健勝を念じつつ退任のご挨拶と致

品のご惠贈に預かり、衷心

合掌

【学費集計】			
平成9年度			
(単位:円)			
収入(円)	前年度	本年度	備考
入会金	16,753,576	16,711,795	
入会金(15,000円)	7,335,000	7,155,000	(15,000円×477人)×1.05
入会金	2,500,000	1,954,000	(2,500円×777人)×1.05
転入金	150,000	30,000	
雑収入	8	8	
合計	19,788,576	21,854,795	
支出(円)			
運営費	500,000	500,000	
事務費	200,000	200,000	
会費	1,500,000	1,500,000	
庶務費	500,000	500,000	
同窓会費	4,500,000	5,000,000	
クラブ活動費	200,000	400,000	
学費補助金	1,000,000	1,000,000	
名義贈金	1,000,000	1,000,000	
文化活動費	1,000,000	1,000,000	
創立50周年費	300,000	300,000	
予備金	1,000,000	1,000,000	
小計	11,500,000	12,400,000	
繰越金(前年)	16,638,576	15,454,795	
繰越金(本年)	26,738,576	27,854,795	

平成9年度			
(単位:円)			
収入(円)	前年度	本年度	備考
入会金	16,753,576	16,711,795	
入会金(15,000円)	7,335,000	7,155,000	(15,000円×477人)×1.05
入会金	2,500,000	1,954,000	(2,500円×777人)×1.05
転入金	150,000	30,000	
雑収入	8	8	
合計	19,788,576	21,854,795	
支出(円)			
運営費	500,000	500,000	
事務費	200,000	200,000	
会費	1,500,000	1,500,000	
庶務費	500,000	500,000	
同窓会費	4,500,000	5,000,000	
クラブ活動費	200,000	400,000	
学費補助金	1,000,000	1,000,000	
名義贈金	1,000,000	1,000,000	
文化活動費	1,000,000	1,000,000	
創立50周年費	300,000	300,000	
予備金	1,000,000	1,000,000	
小計	11,500,000	12,400,000	
繰越金(前年)	16,638,576	15,454,795	
繰越金(本年)	26,738,576	27,854,795	

池田 孝典

講演会抄録

日本の政治の

現状と課題

三十三期丁組 大沢 昇



我が国の政治には、国政と地方議会の二つの政治があり、私は江東区の皆様からご託託を頂戴して、後者の地方議会の一、東京都市議会議員を一期務めさせて頂きました。そこで、国から見た一つの地域である東京、その中に様々な市区町村が存在しており、色々な問題や課題を抱えていることを目の当たりにし、多くのことを学びました。そして、選挙制度が変わって、初めて行われた第四十一回衆議院議員選挙に挑戦しました。結果は、私の努力不足で議席を得ることは出来ませんでした。引き続き初心を忘れる事無く理想を失わず、地方議員として経験を積み、東京が抱えている様々な問題や、これから国を支えていく世代としての責務を果たしていくために汗を流して参りますので、駒大高校同窓会の皆様の指導を頂けますようお願い申し上げます。

さて、初めに述べましたように我が国には国と地方の二つの政治形態があり、それぞれに違った形で選挙を行い民意を汲み上げておりますが、そこに一つの矛盾にも似たものが生じてお

党のイデオロギー対決でありました。しかし、五十五年体制の終焉を迎えた細川内閣以降、対立軸がその時々政局によって複雑に構成されるため国民にとっては分かり難く、国民不在という印象を与え、政治離れ・政治不信そして、選挙の投票率の低下を招いているのではないのでしょうか。

一方の地方議会は役割として、住民が安心して暮らしていけるための治安や防災、教育や福祉などの社会保障、上下水道や道路といったインフラの整備等、国民生活に密接に関係する事柄を実施する行政のチェック機能であり、住民の声を行政に繋ぎ反映させる役割を持っており、近年で続いていた、五十五年体制の中央集権の壁に阻まれる中央集権の壁に阻まれる

たり、また一方の直接選挙で民意を反映され、選出された首長との微妙なバランスの上に、国政とは少し違った首長に対しての曖昧な与野党が存在をしております。

そして、本来あるべき姿である「行政と議会は車の両輪」という形が、首長の公約を履行に移すための予算案を審議する場だけに成りつつあります。それに伴い、行政に対してのチェック機能の低下や議員提出議案の低下を招き、活発な議論が展開をされず、どうしても議会の独自性を発揮出来ずになっています。そのため、国政以上に地方議員を選ぶ選挙に於いて国民の関心は年々薄れていきます。

この様な国民から見放された政治状況を変えていくと連絡をとることが出来た。彼と会い旧交を暖めたあと彼は今まで歩んできた足跡をおもむろに語ってくれた。それによると高校卒業後フリーカメラマンに師事、フリーカメラマンとして広告製作に携わる様になる。広告製作をしていく過程で編集と、なにか通じる様な気がして出版活動に入る。一九七八年(株)ワールドフォトプレス社刊行の「アメリカ製品の本」では、これまでに養いながらきたノウハウを生かし編集長として手腕を振る。以後エディトリアル・アドバイザーとして「世界の腕時計」・「モノマガジン」等グズマガジンの先駆けとなる新分野の雑誌を多数開発している。ちなみに「モノマガジン」の頁をめぐってと広告雑誌である。値段から始まってどこに行けば買えるのか？使い勝手はどうか？などグズひとつひとつに細かな情報が盛り込まれている。あえて言うなら彼、

妻倉 由明



何気なくテレビを観ていたら見おぼえのある顔が写っていた。「あれ!! 同級生の坪井に似てるけどなあ?」と何かスッパリしない思いにとらわれてしまった。その思いが解消されたのは、彼の名前が出た時である。なつかしさと同時に彼は今何をしているのだろう? 会ってみたいという気持ちが沸いてきた。彼とは高校卒業以来全く連絡がとれなかった。いろいろな方面に手を廻し、やっ



赤い星での緑化

教諭 浦 敏之

夏は雨季で植樹は活着率が悪く、適していない。

家畜天国 村の様子を記すと、我々の滞在する中国科学院瀋陽応用生態研究所の実験場の生活は沙漠の生活であることを考えれば快適である。食事は中華とモンゴル料理で、毎日満腹である。羊や山羊の肉をたらふく食べられる。冷えてはいないが赤峰啤酒(ビール)もある。赤峰白酒(三六度の蒸留酒)はうまい。

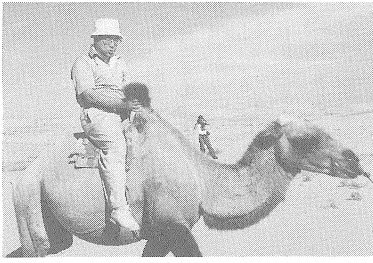
村にはよき小屋が一軒あるだけで、道には黒豚・ロバ・牛・鶏が餌を食べながら我がもの顔で歩き回っている。朝は鶏の音があらわに聞こえてくる。実際に、太陽が上ると起き、暗くなると寝るという生活である。村にはオート三輪もあるが、多くはロバ車である。

昨年夏と今夏「中国内モンゴル・沙丘緑化支援」といふ旅に参加した。参加者は十代から七十代まで、職業もさまざまである。隣国中国とはいえ、日本から遠く離れた地であるが春になれば黄沙が飛んでくるように近くいろいろな影響のある所である。中国の沙漠化は年々広がっている。国土の十七%が沙漠である。北京や他の大都市では人民の命により各企業が毎年春植林に参加して緑化に協力している。しかし、辺境の地ではそのような経済力も大きな企業も無いので夫々の人民が努力しなくてはならない。

鳥蘭教都村 我々の行った内モンゴル自治区にある鳥蘭教都村(ウーランアオジュ・意味は紅い星)村は北京の北西五百五十キロにあり、ケルチン沙地の一帯に位置している。北京から赤峰市まで夜行列車で十一時間、さらにバスで四時間かかる。百七十戸約八百名の蒙古族が住む小さな村である。五・六十年前は遊牧をしていたが現在は定住して、個別経営である。牧民の平均年間収入は八百七十元(約一万二千八百二十円)である。このような状況では、緑化する資金も、余裕も無い。元来遊牧民であったため土地に対する執着の仕方が我々と異なり、土地改良の意識が弱い。

したがって、我々の訪中目的は牧民に対する緑化作業の大切さと、沙漠の緑化は可能であり、そうすることにより収入が増え、生活に余裕ができることをアピールし、少しでも早く個人がその努力をするように教育することである。マザー・テレサも言うように、広大な沙漠で実際に我々の出来ることはほんの少しである。彼等の意識を変えるきっかけになればよい。そのため、牧民や彼等の子供たちとふれあいを大切と考えている。

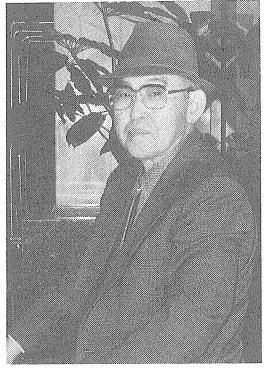
草方格作り 現地での作業は移動沙丘を押さえ、緑化のために、正方形になるように草方格を作る。その中にカラガナという牧草の種をまく。多年生の灌木で枝に小さなトゲがある。春から夏にかけて黄色い花が咲き、鞘の中の種が弾けてふえる。昨年時の種は今年五・一五cm位にしか育っていない。実際に牧草地として使えるようになるには二十年以上かかる。しかし、草方格で覆われた沙は移動しにくい。昨年草方格を作ったところは固定されたが、その横は沙が移動して形が変わっていた。このケルチン沙地は移動沙丘のために被害が大き



満天の星 夜は真っ暗で星が降るようである。星座に興味を持つ人は寝るのを忘れるほど夢中になってしまう。流れ星も久しぶりに見た。人工衛星の軌跡をゆっくりと追うこともできる。四十年前くらい前は東京でも星がたくさん見えたことを思い出す。電話も新聞もテレビもない、自然と共に暮らす生活を送るには良い機会である。ストレスの多い仕事をしている人々はリフレッシュのために是非、参加してみよう。

御意見、質問等はEメールで。 the@camdn.or.jp

その後の恩師



祝賀訪中団に参加して

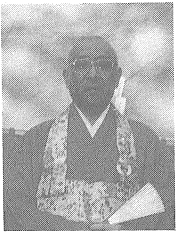
上野 敏雄

東京都日中友好協会代議員、港区日中友好協合理事をしていて関係。昨年十一月に東京都日中友好協会主催、北京市人民対外友好協会創立十五周年祝賀訪中団に参加、北京・南京・黄山・屯溪・黟県・杭州・桂林・上海の各地を歴訪して来ました。十一月二日労働人民翌日は午前中、未開放地

区・黟県西通村見学、昼食後出発、安徽省と浙江省の省境の曲りくねった山道を通過杭州に到着、杭州では西湖遊覧、西冷印社・浙江省対外友好協会の趙嘉福・徐德仁副会長と昼食会、霊隠寺・双峰村茶葉工場見学して、空路桂林へ、翌日桂林では漓江下り、支那商店にてショッピング、榕湖飯店（大統領の間に、桂林市人民政府秘書長梅副秘書長・趙克外弁主任（桂林市対友協副会長）主催の歓迎宴、その後桂林山大酒店にて民族舞踊鑑賞、翌日象鼻山・蘆笛岩見学、昼食後車空路へ、夕食後外灘・人民広場などの夜景をバスにて見学しました。全行程を北京市人民対外友好協会副会長萬雲先生が通訳を連れて同行案内下され大変優遇を受けました。

昭和三十九年九月国語科教諭として奉職
昭和五〇年四月教頭に就任
昭和五三年三月退職

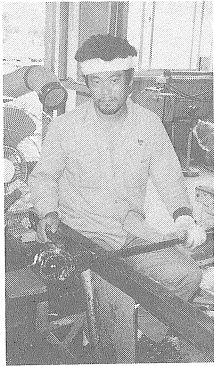
大谷会長
大本山永平寺より
焼香師 拜命



大谷会長はこの度、曹洞ない言葉なので簡単に解説宗大本山永平寺より焼香師すると、大本山永平寺の禪辞令の委嘱があり、本年九師の名代として高祖道元禪月二十七日に上山し、翌二師の御征忌法要供養の導師十八日午前十時（愚中）よを務めることである。

ガラスが呼んでいる

桧山 和則

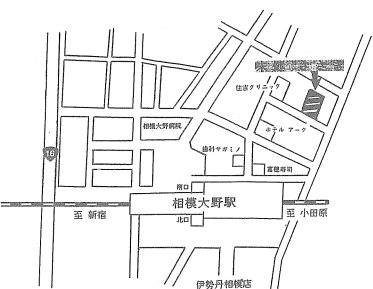
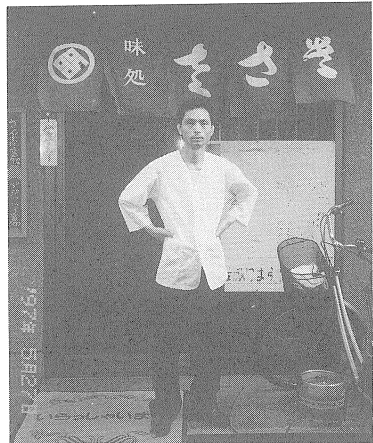


「グーッ」とバーナーが火を吐く、火葬場の音と同じである。心臓が共鳴する。撰氏二〇〇度ドロドロに溶けたガラス、溶けている時は黄金色である。ガラスの一番美しい時でもある。クリスタル、透明な、そんな表現が似合うのは、ガラスが冷めてからの話である。溶けているガラスは、熱くやわらかく、黄金色なのだ。ゴールド、ドラド、ゴルデン、オルであり、チ

ンである。ガラスの世界に入ったのは、九〇年の七月、長女が生まれて一週間後、それまでは、コンピュータ営業をしていた。九八年間営業マンをしていた。しかし四年目くらいから何か違っているかと思いついた。なぜか常に考える様になり中学生のころ考えていた事物を造る事、そんな夢を、今後のビジョンに替えた。そうして、ガラスの世界に入った。三〇才であった。小さなことが違っていると、大きなことまで違ってしまうから。リトル・デヴァレンス・メイク・ビック・デヴァレンス。入社したガラス会社は、カガミクリスタル(株)、主にクリスタルガラス食器を生産し、取引先は、宮内庁、

- （五期）前号（二十四号）記載以降
平成九年八月三十一日現在
平成九年一月二十八日から八月三十一日までに納入された年会費です。今までに複数年度分納入された方がたくさんいらっしゃいます。が、氏名は省略させていただきます。
- （敬称略）
- （一期）河野純香・和智健次
（二期）佐藤園枝・原正男
（三期）山下慎一・関亮
（四期）吉田吉恵・野中寛一
（五期）吉勝勝一・桑木幹男
（六期）茂林道龍・佐々木正純
（七期）青山勇・河本和磨
（八期）田上太秀・西川俊郎
（九期）渡辺忠
- （十期）高島宗光・山根貞雄
（十一期）真田治孝
（十二期）河内俊孝・堀秀男
（十三期）住井義典・中森和會
（十四期）濱田好晃・三田英雄
（十五期）白井旭・井野孝司
（十六期）上田相生・高村仁
（十七期）徳山康二・吉澤道雄
（十八期）葛西治雄・宮本弘賢
（十九期）杉山孝・久野雅晃
（二十期）林一義・松井道孝
（二十一期）表勝昭・堤崇
（二十二期）大澤幸幸・猪狩力
（二十三期）菅沼勉・白木誠一
（二十四期）鈴木洋・小林仁
- （二十五期）前田雅信
（二十六期）阿野和男・腰塚正章
（二十七期）南條弘至・三武徹
（二十八期）竹内昭彦・大塚高明
（二十九期）小倉啓一・加藤祥司
（三十期）笹原信二・石井光彦
（三十一期）瀧澤俊勝・倉本澄夫
（三十二期）渡辺正弘・岡安文雄
（三十三期）石渡進・萩原清
（三十四期）林雄二・橋忍
（三十五期）木下陽一・岩崎孝和
（三十六期）鹿島廣・杉山守
（三十七期）月岡裕二・高橋功
（三十八期）遠藤豊博・田中耕次
（三十九期）道雄・木村等
（四十期）鈴木正人・秋成知雄
（四十一期）小林一喜・中野玄系
（四十二期）岡部博文・中村信孝
（四十三期）脇田正治・井上猛
（四十四期）野田義宣
（四十五期）竹田法俊・小林正治
- （四十六期）鈴木堯泰・金子隆司郎
（四十七期）野田素裕・中野重孝
（四十八期）加藤一弘・香取眞理男
（四十九期）飯塚辰男・梶原勉
（五十期）山口高志・木田修一
（五十一期）高橋正之・泉弘一
（五十二期）堀岡裕
（五十三期）高沢辰一・大上晃
（五十四期）森吉仁・菊地善彦
（五十五期）広瀬昭博・四方田信之
（五十六期）岩井義道・野本齊
（五十七期）阿久津隆一
（五十八期）須貝敏弘・宮入肇
（五十九期）高橋徳孝・大滝祐賢
（六十期）足立幸士
（六十一期）小山善之・五位測隆弘
（六十二期）恩田治孝・木村剛
（六十三期）白浜勇二・神谷光伸
（六十四期）椎本邦一・大野秀夫
- （六十五期）桑原伯州・田崎博識
（六十六期）横井広之・田島龍爾
（六十七期）北原徹・野原正恵
（六十八期）加藤廣・杉山富大
（六十九期）齋藤恵治
（七十期）鉄砲塚均・武内一章
（七十一期）長瀬恵則・北井敏英
（七十二期）木村太・岡部武
（七十三期）川上新二・小野瀬康行
（七十四期）持田和彦・山本幸治
（七十五期）東和人
（七十六期）藤岡康雄・大崎光弘
（七十七期）遠藤広一
（七十八期）今井誠司・大沢昇
（七十九期）大崎泰輝・井伊英明
（八十期）真田幸孝
（八十一期）室井健司・菅谷隆彦
（八十二期）松原貞勝・遠藤威信
（八十三期）秋山忠雄
（八十四期）高橋良昌・猪俣恭幸
（八十五期）奥島信明
- （八十六期）中村康雄・帶川雅弘
（八十七期）佐藤達・岡本一昭
（八十八期）中原慎介・有田龍平
（八十九期）有賀秀樹・仲田剛
（九十期）阿彦尚志・山下剛
（九十一期）秋山亘・平野光治
（九十二期）本多正明・羽場敬仁
（九十三期）林卓男・江口修次
（九十四期）小宮道夫
（九十五期）杉山幸一・今泉至成
（九十六期）吉田直樹・悟道大是
（九十七期）杉澤秀紀・平田博樹
（九十八期）山下大
（九十九期）外村祐治・酒川淳
（一百期）市原英典
（一百〇一期）白石勇樹・小川吉文
（一百〇二期）油井大智・中村敏之輔
（一百〇三期）工藤一馬・須崎正規
（一百〇四期）塚本剛史・鈴木朝春
（一百〇五期）高橋章則・田平丈太郎
（一百〇六期）板橋学・子安雅之
（一百〇七期）香山貴史・山本太郎

卒業生近況



（一）冥福を祈ります
鈴木 純一 四四期C組
平成九年五月十六日
横山 核之進 二九期E組
平成九年六月十日

同窓生のお店探訪
味処「ささき」
今回は、二十一期生で柔道部のキャプテンとして活躍した佐々木好彦さんのお店を紹介いたします。
小田急線相模大野駅南口より徒歩三分の所に「味処ささき」があります。気軽に

わう。中学、高校の同級生もよく集まり昔話にはなをさかせている。
創業は、昭和六十一年五月、今年で十二年目をむかえた。一人で料理を切り盛りし、安くておいしい店を信念に夫婦で頑張っている。姿は、いつまでもうれしいものである。
メニューに目をむけると、相模大野駅にお越しの際は、ぜひ立ち寄って見てくだされ。
相模原市上鶴間三五九〇一四。電話〇四二七四四一三七二。
取材、常連客同期真間馨。

- （三十八期）小松 悟・阿久津裕一
（三十九期）多田岳人
（四十期）桑原伯州・田崎博識
（四十一期）横井広之・田島龍爾
（四十二期）北原徹・野原正恵
（四十三期）加藤廣・杉山富大
（四十四期）齋藤恵治
（四十五期）鉄砲塚均・武内一章
（四十六期）長瀬恵則・北井敏英
（四十七期）木村太・岡部武
（四十八期）川上新二・小野瀬康行
（四十九期）持田和彦・山本幸治
（五十期）東和人
（五十一期）藤岡康雄・大崎光弘
（五十二期）遠藤広一
（五十三期）今井誠司・大沢昇
（五十四期）大崎泰輝・井伊英明
（五十五期）真田幸孝
（五十六期）室井健司・菅谷隆彦
（五十七期）松原貞勝・遠藤威信
（五十八期）秋山忠雄
（五十九期）高橋良昌・猪俣恭幸
（六十期）奥島信明
- （六十一期）中村康雄・帶川雅弘
（六十二期）佐藤達・岡本一昭
（六十三期）中原慎介・有田龍平
（六十四期）有賀秀樹・仲田剛
（六十五期）阿彦尚志・山下剛
（六十六期）秋山亘・平野光治
（六十七期）本多正明・羽場敬仁
（六十八期）林卓男・江口修次
（六十九期）小宮道夫
（七十期）杉山幸一・今泉至成
（七十一期）吉田直樹・悟道大是
（七十二期）杉澤秀紀・平田博樹
（七十三期）山下大
（七十四期）外村祐治・酒川淳
（七十五期）市原英典
（七十六期）白石勇樹・小川吉文
（七十七期）油井大智・中村敏之輔
（七十八期）工藤一馬・須崎正規
（七十九期）塚本剛史・鈴木朝春
（八十期）高橋章則・田平丈太郎
（八十一期）板橋学・子安雅之
（八十二期）香山貴史・山本太郎
- （八十三期）手頃で、おすすめ品はそ
の日の仕入れで定めている。
日本酒好きには十五種類の
おいしいお酒がいつでも用
意されており料理の味と雰
囲気を一層、高めてくれる。
営業時間は、十一時〜十
四時（ランチ）と、十七時
〜二十二時。日曜、祝日は
定休日。
相模大野駅にお越しの際は、ぜひ立ち寄って見て
くだされ。
相模原市上鶴間三五九〇
一四。電話〇四二七四
四一三七二。
取材、常連客同期真間馨。
- （八十四期）小松 悟・阿久津裕一
（八十五期）多田岳人
（八十六期）桑原伯州・田崎博識
（八十七期）横井広之・田島龍爾
（八十八期）北原徹・野原正恵
（八十九期）加藤廣・杉山富大
（九十期）齋藤恵治
（九十一期）鉄砲塚均・武内一章
（九十二期）長瀬恵則・北井敏英
（九十三期）木村太・岡部武
（九十四期）川上新二・小野瀬康行
（九十五期）持田和彦・山本幸治
（九十六期）東和人
（九十七期）藤岡康雄・大崎光弘
（九十八期）遠藤広一
（九十九期）今井誠司・大沢昇
（一百期）大崎泰輝・井伊英明
（一百〇一期）真田幸孝
（一百〇二期）室井健司・菅谷隆彦
（一百〇三期）松原貞勝・遠藤威信
（一百〇四期）秋山忠雄
（一百〇五期）高橋良昌・猪俣恭幸
（一百〇六期）奥島信明

母校は今

カナダセミナーに参加して アボッツフォード奮闘記

教諭 松澤 香奈子



「八月十六日の帰国の際、三十三名全員が元気に成田空港に到着できるよう最善を尽くして参ります。」と、校長先生、河村先生、保護者の方にお伝えし、アメリカ航空26便に乗り込み、まずシアトルに向いました。

七月二十九日
九時間ものフライトを終え、その後二時間半バスにゆられ目的地アボッツフォードに到着。アボッツフォードはバンクーバーからおよそ七〇kmの郊外に位置すること、既に二つも存在するモール（巨大ショッピングセンター）に加え、来年までは新しく更に二つ増設されるほど活気にあふれた地域である。それと同時に、ミル湖、ペーカール山等自然にも恵まれた環境のもとにあり、ホームステイには絶好の条件がそろっている。

いよいよホストファミリーとの対面式。バスの中

でさえも始終はしゃいでいた生徒達もいざ対面となるとはにかむばかりで、スリーケースのむこうに身を隠すようにしていた。ホストファミリーに握手を求められると小さな声で、"Hello"と答えるばかり。これからの十八日間で英語力の成長ぶり、もしくはホームシックのかわり具合とではどちらが顕著になるのだろうか。不安が募った。

八月一日
月曜から金曜までの午前中は、現地カナダ人教師による英会話授業が行われ、午後はアクティビティと称して野球観戦や乗馬体験など様々な予定が盛り込まれており、今日はスポーツアクティビティとなっていた。リンクでローラースケートを楽しむ生徒の笑顔は普段教室で見るとは異なり、のびやかだ。今日は滞在四日目。目下、予定通り進行中。

八月九日
今日は土曜日。週末は授業がなく、ホストファミリーとそれぞれの休日を過ごすことになっている。つまり休日は英語会話のみで生活しなければならぬ。きつとキャンプや、買物等カナダでの休日を満喫しているにちがいない。しかし、今夜の電話が鳴る回数は尋常でなかった。どの生徒の話も聞いてみても、内容はたわいなし。「メイプルシロップを一〇本も買ってしまった。」であるとか、「朝食に出るコーンフレークに飽きた。」などという内容だ。どうやら日本語（日本人）が恋しくなつたらしい。一〇分程話すとどの生徒も

満足気に電話を切っていた。電話を切った後、その生徒達は何をどのように考えたのだろうか。日本に帰れば日本語さえ話せばいいと消極的になってはいないだろうか。今十分に話せない英語を克服したい、克服するぞという力強さ、たくましさ、身をいつけて欲しい、その願わずにはいられないなかつた。

八月十三日
今日は、お別れ会「さよならパーティー」を開く。その際に贈る「Thank you」カードを作り、生徒一人一人がそれぞれのホストファミリーに宛てて、感謝と再会を願う心のこもった文章を綴るべく辞書と格闘している。伝えたい気持ちがあつてはじめて言葉が活かされてくる。言葉はメッセージを伝える手段だということ、身をいつけて学んだのではないだろうか。

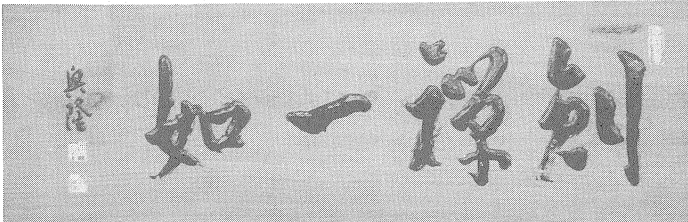
八月十五日
いよいよ出発の日となった。ホストファミリーとの最後の別れを惜しみ、どの生徒もなかなかバスに乗り込めずにいた。これから待ち受けている沢山の人の出会いも一つ一つ大切にしたい。また帰国を待ちたい。また家族の愛情をもらいたい。そして、今までの生活に感謝したい。心からそう思った。

日記から抜粋させて頂きました。

九月一日始業式の日、ある生徒が職員室に足を運んでいます。

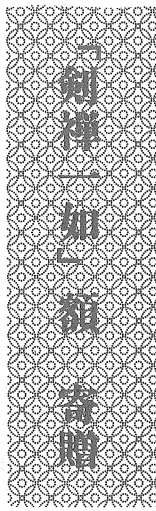
「先生、カナダのホストファミリーに手紙を出したのですが、この手紙に目を通して頂けませんか？」ここに、小さなカナダの親善大使の誕生です。

三週間にも満たない期間ではありましたが、異文化にじかに触れたことは、かけがえのない体験になったと信じて止みません。



玄関ロビーと坐禅堂入口に「脚下一顧」という刻り物が置いてある。これは、本校第二十一期（昭和四十六年卒）加藤一弘氏よりの寄贈である。また、今回修道館剣道場の正面に掲げられている「剣一」の額を、揮毫に写し刻って頂いた。この揮毫は、本校元教頭であり、大本山総持寺後堂を務められた、大山興隆老師のものであるが、額が雨漏りにより汚れていたため、それを見た加藤一弘氏のご厚意により刻って頂いた。

来春、親子二代にわたり同窓生となるため、より一層本校との縁を大切にしたいという願いからの報恩の行と話されている。



ソフトテニス部 インターハイ ベスト8入賞

顧問 若月 道隆

インターハイ（全国高等学校総合選手権大会）高校生あこがれの檜舞台に本年も東京都代表として出場できました。二年連続十回目の出場です。東京都の一位しか出られないこの大会は、まず予選が大変です監督の私としては本大会より予選の方がよほど苦しいです。全国制覇が目的の駒大高校ソフトテニス部も本大会に出たらの話ですから、そこで皆様にソフトテニスの団体戦の戦い方を少しご説明致します。ダブルス三組で二組勝った方が勝ちで

三組の出ず順番は監督が決めます。それが悩みの種でして練習中も練習が終わってから頭からそのことが離れません。例えば本校の三組を強い順に「二二三」と出したとします相手も強い順に「一、二、三」がその通りには出て来ませんどう出てくるかという、本校の一番に相手の三をぶつけて捨てて来ますそして二にいで勝ち三に二で勝ち二対一で本校の負けになってしまいます私の頭の中は「二二三」「二二三」「二二三」……

結果東京都の決勝戦は宿敵東海商業に二対〇で勝ち京都福知山で開催されるインターハイ出場権を得ました。春の全国選抜大会は準決勝で、優勝した奈良の高田商業に二対一で負けましたインターハイまで三か月鍛えて今度こそその思いのぞみました、組合せを見

ましたら第一シード高田商業、第八シード駒大高校またまた準決勝、しかしインターハイは甘くない出場校全部が都道府県の代表だ「初戦から大事に戦おう」本大会は一回戦シード、二回戦福岡の筑紫台高校にやうはトリップの関根、福田が負け大将の斉藤、田中が勝つて二対一の三番勝負を小笠原、市原が物にしてやうと勝ち上がった三回戦京都鳥羽高校が地元応援がすく、戦いにくつたが二回戦で負けた関根、福田が今度は勝ち大将の斎藤、田中も勝ち二対〇、いよいよ高田商業と思いきやなんと関根が私の横で倒れてる暑さと緊張のためです、テニスコートの上は照り返しで四〇度しかも鏡り合った試合が二試合続き一年生には荷が重い、タンカーで医務室へ行ってしまった。私は残りの選手に関根の選

手変更の準備と高田商業戦の指示をし医務室へは父兄に付いてもらった。大会アウンスは「東京都駒大高校次のオーダーを至急出して下さい」医務室から父兄が走って来て「若月先生関根が絶対に変えないうて下さい、大丈夫ですと言ってます」そこでオーダーは斎藤、田中、関根、福田、小笠原、市原しかし結果は二対〇で負け高田商業はそのまま準決勝、決勝と勝ち進み春夏連続全国優勝しました。敗軍の将、兵を語らず選手はよく頑張ったと思います、負けたとはいえ全国ベスト八です、過去に七回全国優勝しましたがその七回目はこの春全国私学選手権を前出の斎藤、田中が優勝し、なかなか立派な学年と思います。しかしまだ十月には国体（大阪）が残っています今年こそ！ご期待ください。

「新しい人達です」 ようこそお願ひ申し上げます

松澤 香奈子
英語 津田塾大学
学芸学部英文学科

自身が教員生活を振り返ったとき「駒高生に出会えて良かった」と思えるよう受験英語の枠にとらわれず、そのもつ魅力を少しでも見出すべく日々精進したいと思っています。

渡邊 佳子
国語 書道 駒沢大学
文学部国文学科

高等学校における英語教育のもつ意味は何か。私は主に二つあると考えます。一つは英語を話す、読む等の英語運用能力の発展、二つには英語を通じて様々な国の政治、文化、宗教等を受け入れられる懐の深さや国際性の育成です。

生徒達が卒業を迎えたとく「駒高で過ごせて良かった」と思えるよう、また私



受験生!!

受験生をお持ちの同窓生の方で、母校に学んだ縁を大切に、子弟を母校に学ばせたいとお考えが

- 特別会員の異動
- 就任者
非常勤講師 大熊 志保（家庭）
Jerry Anthony（英語）
 - 事務 小林清次郎
 - 退職者
校長 羽住 奎
非常勤講師 増尾 聡哉（国語）
関 隆司（国語）
鈴木 賢司（地歴）
及川 徳美（英語）
Andrea Brown（英語）
藤田 幸子（家庭）
皆川 広志（仏教）
 - 事務 秋沢 英策

土曜講座「華道」

教諭 笠井 絵美

平成七年四月男女共学となった。選択の特別講座も女子生徒のためにいろいろ増設された。その中に「華道」の授業がある。講座の目的は「華を活けることで日本文化の真髄に触れ、日本の心と姿を学ぶ」というものである。古流正華道の影山先生に御指導をいただいている。毎年一、二年生が前期と後期に二十名を定員として受講する仕組みである。

ここにこして横の生花の様子も見たりして満足そうである。なぜか男子生徒の方々が早く活け終わる。美しい花、緑、そしてそれを自分で形にして行く時間の流れは、二時間であっても、非常にすがすがしい。

開講した平成七年の前期には女子生徒二十名であったが、後期には男子生徒も若干名加わり、その後前期後期ともに何名かの男子生徒が受講している。

授業は、広い和室で季節にそった花材が先生の御配慮で用意される。華を活けている生徒達の目は真剣で自分なりに活けおわると、



クラス会報告

二十一期H組

棚網 清一郎

遠い記憶なので卒業後数回あったといわれるクラス会もピンと来ない今頃に旧友が集まった。昭和から平成に変わった現在、西暦だと一九七一年卒業で一九九七年の今日、電卓で単純に引いても二十六年の月日が過ぎてしまっている。

当初数名が集まった事が切っ掛けでクラス会をやるうとの声が出て、現在知りうる限りの情報により旧名簿をもとに通知連絡する。しかし卒業当時の住所に所在している者は数える程度で、うまくその住所が実家として残っている場合はラッキーなほうで実家ごと引っ越ししてしまっている者については調べようがなかった。悪戦苦闘でそうこ

き出す頃まで飲み明かし無事解散となる。

今回参加出来なかった者より再度クラス会を行なうとの意見もあり、不明者のリストも入手出来たので、二ヵ月後同じクラスのG君がオーナーで代官山に在る高級割烹店で開くことになった。参加メンバーも半数以上入れ替わった。今名がワイワイガヤガヤとお決まりの進行の途中、北海道より電話が入り担任だった筈川先生（現在、北海道の高校の校長先生になられています）より二十六年ぶ

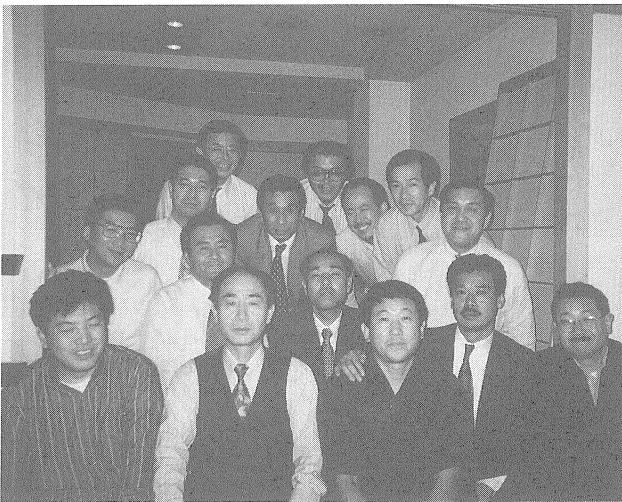
り、少しも変わっていない肉声であった。クラス会をやる連絡はしておいたが突然の事で、出席者全員が電話に出て二言三言と全体が盛り上がりがあった。そしてなんと先生が二ヵ月後に所用で東京に来られるとの事、さっそく先生の上京にあわせて再度クラス会を、同じ場所で行うと出席者全員の意見が一致。今回の二次会ではやはり同じクラスのI君の実家がやっている渋谷の店でそこに全員が移動。乾杯、打ち上げ、そして先生も参加される二ヵ月後を期待して、解散。

五月二十九日好天の下多摩カントリークラブ行われた。参加者は二期から二十二期迄の九名、新ベリア方式で会長杯に挑んだ。結果は十八期の高橋功氏が第四回に続いて二回目の優勝に輝いた、プレイ終了後クラブハウス、コンペ会場で表彰式とパーティーが行われ参加者から次回以降の要望が数多く出され、和気あいあいの内次回の健闘を誓い解散した。次に当日の成績は次の通りです。

順位	氏名	卒期	GROSS	H'CP	NET
優勝	高橋	(18期)	82	8.8	73.2
準優勝	吉村	(14期)	85	9.6	75.4
第3位	森本	(4期)	95	19.2	75.8
4	前川	(3期)	99	22.8	76.2
5	若月	(先生)	100	21.6	78.4
6	石井	(2期)	87	7.6	79.4
7	山崎	(22期)	99	19.2	79.8
B.B.	奥島	(15期)	96	15.6	80.4
9	大谷	(3期)	115	31.2	83.8

編集後記

駒大出身監督第一号の横浜ベースタイズ大矢氏が今セリーグの後半戦を非常に面白くしている。小生も大学野球部に身置いた者として毎日の戦況にわくわくしながら見守っている。あと残り二十試合ほどであるが、是非がんばって、駒大出身優勝監督になってほしいと願っている。（森本）



女子ソフトボール部を結成し、三年目になります。練習は狭いながらも校庭で週二日（木・金）。初心者ばかりですが、和気あいあいと楽しく練習しております。

今後の技術の向上のために、放課後の部活動を継続的に、コーチとして技術指導していただける方を探しています。野球経験のある方でも結構です。男女問いません。詳しくは顧問の小林までお尋ねください。

女子ソフトボール部を結成し、三年目になります。練習は狭いながらも校庭で週二日（木・金）。初心者ばかりですが、和気あいあいと楽しく練習しております。

今後の技術の向上のために、放課後の部活動を継続的に、コーチとして技術指導していただける方を探しています。野球経験のある方でも結構です。男女問いません。詳しくは顧問の小林までお尋ねください。



駒大出身監督第一号の横浜ベースタイズ大矢氏が今セリーグの後半戦を非常に面白くしている。小生も大学野球部に身置いた者として毎日の戦況にわくわくしながら見守っている。あと残り二十試合ほどであるが、是非がんばって、駒大出身優勝監督になってほしいと願っている。（森本）

土曜講座「ボランティア」

教諭 浦 敏之

ボランティア活動は人と人との繋がりについて大切である。日本語には「おたがいさま」という言葉があるが、まさにそうであって共に生き、互いに助けあうことである。特別なことではない。

今この講座では地域との共生を第一に考え、世田谷区社協の経営する「デイ・ホーム弦巻」での実習は高齢者とおしやべりや、合唱に参加したり、紙芝居をやったりと生徒も土曜日の二時間と短時間であるが、楽しんでる。用賀技能開発学院の行事の手伝いはボランティアの都予選参加者の介護の手伝いや納涼祭の手伝い等を中心としている。また、古切手・使用済みテレカの収集をし、ボランティア団体に贈り、主にアジアの婦人・子供の生活を

支える運動に協力している。使用済みテレカは多くの生徒の協力により、かなり集まってきた。

今後の計画としては、対人地雷の除去運動に参加する。世界には一、〇〇〇万個の地雷が埋められ、毎年ふえている。その為、年間二五万人以上の人が手足を切断されたり、死亡している。

この運動の活動資金にするため、放課後 校内に放置された空き缶を集めている。また、生徒のかいたポスターを校内の掲示板に貼り、啓蒙活動を行っている。

今後の活動方針は、この地球上で、人が人らしく生きてゆける社会となるには今何が出来るか、生徒と共に考え、できることを実践することである。

学校説明会

対象 受験生・保護者
会場 本校体育館
日時 十一月八日（土）
一回目 午後一時（都下近県）
二回目 午後三時三十分（全地区対象）
インターネットによる入試情報サービス
本校のURLは、http://www.infoweb.or.jp/schoolguide/konadai/です。

平成10年度生徒募集要項 推薦入試

課程・学科	全日制・普通科
募集人員	第1学年 男子160名 女子80名
出願資格	平成10年3月公立中学校を卒業見込みの者で本校を第一希望とし中学校長の推薦する者。
出願期日	1月16日(金)～1月17日(土)
受付時間	午前9時～午後4時
出願手続	下記のものを一括して出願期日以内に提出・納入してください。 (1) 入学願書(本校所定の用紙) (2) 中学校長推薦書(本校所定の用紙) (3) 受験料20,000円
入学試験	1月22日(木) 午前9時より面接開始(筆記回答を含む。志願者本人のみ)
合格発表	1月23日(金) 午前10時～午前11時 事務所窓口において受験票引換により発表
入学手続	1月24日(土) 午前9時～午後4時 合格者は下記のものを出し、納入して入学手続をすませてください。 (1) 入学手続金納付書 (2) 入学金230,000円 (3) 施設費150,000円 上記24日午後4時までに手続を完了しないと、入学資格を失います。また、一旦納入された納付金は、事情の如何にかかわらずお返しできません。
その他	1月25日(日) 午前9時～午後4時 制服・体育着探す、指定用品等の購入日(制服代金は完成後の着払いです)

一般入試

課程・学科	全日制・普通科
募集人員	第1学年 男子160名 女子80名
出願資格	中学校卒業の者(平成10年3月卒業見込みの者を含む)
出願期日	1月26日(月)～2月5日(木) (日・祭日を除く)
受付時間	午前9時～午後4時(土曜日は正午まで)
出願手続	下記のものを一括して出願期日以内に提出・納入してください。 (1) 入学願書(本校所定の用紙) (2) 中学校長推薦書(公立高校受験用の用紙・様式) (3) 受験料20,000円
入学試験	2月10日(火) 午前9時開始 国語・数学・英語(各50分) 午後面接(志願者本人のみ)
合格発表	2月11日(水) 午前10時00分～正午 本校において掲示により発表
入学手続	2月12日(木) 午前9時～午後4時 合格者は下記のものを出し、納入して入学手続をすませてください。 (1) 入学手続金納付書 (2) 入学金230,000円 (3) 施設費150,000円 受付時間 午前9時～午後4時 上記12日午後4時までに手続を完了しないと、入学資格を失います。また、一旦納入された納付金は、事情の如何にかかわらずお返しできません。但し、公立高等学校に入学を希望する者については、申し出により施設費150,000円を公立高等学校の合格発表後にお返しします。 返還の手続については本校入学試験の合格発表のときに指示します。
その他	(1) 東京・神奈川・千葉・埼玉地区には第一希望優先の扱いがあります。各中学校の先生にご相談ください。 (2) 2月15日(日) 午前9時～午後4時 制服・体育着探す、指定用品等の購入日(制服代金は完成後の着払いです)